

花咲きホールからのお知らせ

TEL 36-2323
FAX 36-2777

花咲きホール演劇公演 第7弾 山県市オリジナル演劇 出演者募集中!



市オリジナルの演劇と一緒に創りませんか。
合わせてスタッフも募集します。
詳しくは花咲きホールまで問い合わせてください。

- ▶ **公演日** 8月19日(土)、20日(日)
- ▶ **対象者** おおむね小学校3年生以上
※練習と公演に要参加、参加無料、出演報酬なし
- ▶ **応募締め切り** 5月5日(祝・金)17時
- ▶ **練習日程** 初回顔合わせ: 5月13日(土)13時
以降本番まで30回程度の練習を行います。
- ▶ **練習、公演場所** 花咲きホール

山県市役所ロビーコンサート トワイライトコンサート

- ▶ **日時** 4月25日(火) 17:15~18:00
- ▶ **出演者** 清水陽介(チェロ) 春日英里子(ピアノ)
- ▶ **主催** 山県市教育委員会 文化の里花咲きホール
- ▶ **お問い合わせ** 文化の里花咲きホール TEL0581-36-2323

山県市舞台芸術振興会 会員募集

～山県市舞台芸術振興会とは～

舞台芸術を愛し、市内やその近郊で誇りをもって活動しているプロ・アマ双方が日ごろの活動の成果を持ち寄り、自らの手で音楽祭などを開催し、花咲きホールから市の芸術文化振興を図るとともに、質の高い舞台芸術への探求と配信を目的とする組織です。

▶ **募集团体** 邦楽、独唱、合唱、吹奏楽、ダンス、演劇など、芸術活動に取り組む個人または団体。

▶ 会費

- | | |
|------------------|------------|
| A会員(プロ舞台芸術家) | 1年間/3,000円 |
| A会員(プロ舞台芸術団体) | 1年間/5,000円 |
| B会員(教育者・指導者) | 1年間/3,000円 |
| C会員(アマチュア舞台芸術家) | 1年間/1,500円 |
| C会員(アマチュア舞台芸術団体) | 1年間/2,500円 |

▶ **応募方法** 各公民館や花咲きホールにある募集要項に必要事項を記入のうえ、花咲きホールまで提出してください。

図書館からの

お知らせ

☎TEL 36-33339

図書館上映会

シアターセットで子ども向けDVD無料上映会を行います。

▼ **日時** 4月23日(日)14時

▼ **アニメ** 「ぼくちローかくれんぼ」(37分)

▼ **場所** 図書館本館

古本をお譲りします

購入後の年数が経過した本や紙質の劣化した本を無料でお譲りします。(絵本、児童書のみ)

▼ **場所** 図書館本館

古雑誌の無料配布のお知らせ

主に平成27年1月～12月までに図書館(室)で閲覧してあった雑誌を、無料でお渡しします。(なくなり次第終了します。)

▼ **期間** 4月22日(土)～5月7日(日)

▼ **場所** 図書館本館・高富中央公民館
図書館室・みやまジョイフル倶楽部図書室

市総合テニスコート全面リニューアル

市総合運動場に隣接する総合テニスコートは、長年の利用により人工芝の磨耗が著しく、この度、スポーツ振興くじ(toto)助成金を活用しテニスコート全面(5面)を整備し、本年4月1日にリニューアルオープンしました。

スポーツ振興くじ(toto)助成金

この助成金は、totoの販売によって得られる資金をもとに、地方公共団体やスポーツ団体が行うスポーツの振興を目的とする事業に対して助成が行われるものです。

▶施設の予約・管理についての問い合わせ先 たかとみスポーツクラブ TEL22-6622



【梅原テニスコート有料化のお知らせ】

梅原スポーツランドテニスコートについては、平成29年4月1日から市民の皆さんも有料となりますので、ご理解ご協力をお願いします。

紹欽さんの○△□

岡古田紹欽記念館 TEL36-1023

美しく生きることを生涯追求した古田紹欽さんが私たちに問いかけるものとは…?

● 今月のひまわり

満開の桜の中で夢を膨らませ新生活を迎える4月となりました。この時期お花見に行く人も多いのではないのでしょうか。

紹欽さんは「花を見るとその美しさにひかれて、つい飲んで歌って踊りたくなる気持ち、この気持ちは日本人でないといけない。花への愛情のように見えてならない。冷たい気持ちで花をながめるということは、日本人にはなかなかできない」と語っておられます。

花見は日本独自の伝統文化の一つです。

平安時代の世の貴族たちは桜の花を愛で、歌を詠み花見の宴を開いて楽しんでいました。

また、桜は春になると山から降りてきた田の神様が宿る木といわれ、豊作を願った民が神様を料理や酒でもてなし、一緒にいただくというのが本来の花見だったといわれています。

近年花見は飲んで騒ぐだけの宴になってきているように感じます。春の訪れを喜び祝う本来の花見に立ち戻り、桜の花を愛でたいものです。

参照／「生きる知恵 日常の禅」